

産後の受診と検査

子供の母親としてずっと元気であるために、心身の疲れを感じたら休息をとり、体力と気力の回復に努めましょう。また、お母さんの健康と赤ちゃんの発育の状況を見ていくために定期的に健診を受けましょう。

◆定期的に血糖検査を受け健康状態を確認しましょう

妊娠糖尿病と診断された女性は、妊娠中に血糖値に異常がなかった妊婦さんに比べ将来糖尿病になる可能性が高いといわれています。出産後は一時的に血糖値が正常に戻ることが多いですが、将来の糖尿病発症リスクを考えて定期的に血糖検査を受けましょう。

1. 産後1～3か月でブドウ糖負荷試験を受けましょう

ブドウ糖負荷試験は血糖値の異常を早く見つけるための検査です。

ブドウ糖負荷試験の手順

- 1) 前日の夕食から10時間以上の食事を抜いた後、朝空腹のまま実施します
- 2) 空腹時血糖値を測定します
- 3) ブドウ糖75gを含む250～350mLの溶液を5分程度で飲みます
- 4) 飲んだ後、30分、60分、120分後に採血します

* 所要時間は2～3時間です。

* 検査中は水以外の摂取はせず、喫煙や運動も控えます

* 費用は3割負担の方で、約4,000円（再診料・検査料）程度です



ブドウ糖負荷試験の結果の見方

	空腹時		負荷後 2 時間	判定区分
血糖値	126mg/dL 以上	または	200mg/dL 以上	糖尿病型
	糖尿病型にも正常型にも属さないもの			境界型
	110mg/dL 未満	および	140mg/dL 未満	正常型

糖尿病治療ガイド 2022-2023

- 浜松市で 2018 年から 2022 年までに妊娠糖尿病と診断された 417 人の分娩 1～3 か月後のブドウ糖負荷試験の結果は、**糖尿病型 15 人 (3.6%)**、境界型 127 人 (30.5%)、正常型 275 人 (65.9%) でした。

2. 分娩後 5 年間は、年 1 回血糖検査を受けましょう

糖尿病の発症は分娩後 5 年以内が多いため、浜松市では分娩後 5 年間は専門施設で**ブドウ糖負荷試験**を受けることを推奨しています。その後は主治医と相談し専門施設への通院を継続するか、健康診断や診療所への通院に移行します

◆乳幼児健診を受けましょう

定期的に健診を受けて、お子さんの**成長の状態 (体格など)**を確認していきましょう。

